

縦書き文書におけるルビ

`axf:ruby`、`axf:ruby-base`、`axf:ruby-text` によってルビを表現できます。このサンプルは縦書き文書ヘルビを表現した例となります。`axf:ruby-base` が親文字、`axf:ruby-text` がルビ文字です。ひとつの `axf:ruby-base` にはひとつの `axf:ruby-text` が対応し、これをルビコンテナとして `axf:ruby` の中に複数配置して表現します。ルビには、三つの形態があり次のように分類されます。

モノルビ

電子^{でんし}ファイルの形式^{けいしき}としての PDF を大雑把^{おおざっぱ}にいうと紙^{かみ}のページを電子^{でんし}的に表現^{ひょうげん}したものである。

グループルビ

電子^{でんし}ファイルの形式^{けいしき}としての PDF を大雑把^{おおざっぱ}にいうと紙^{かみ}のページを電子^{でんし}的に表現^{ひょうげん}したものである。

熟語ルビ

電子^{でんし}ファイルの形式^{けいしき}としての PDF を大雑把^{おおざっぱ}にいうと紙^{かみ}のページを電子^{でんし}的に表現^{ひょうげん}したものである。